

平成25年度第2回市民評価委員会議事録

- 1 開催日時 平成25年11月7日(木) 10:00~10:45
- 2 開催場所 市役所3階 応接会議室
- 3 出席者 委員8名(石井俊一委員、山崎浩委員、越智千鶴子委員、眞鍋昌裕委員、志賀信哉委員、小野力委員、加藤学委員、桑原涼一委員)
市長
事務局4名(鴻上次長、小島、赤瀬、曾我部)
- 4 傍聴者 なし
- 5 会議内容 (1) 開会
(2) 専門部会評価結果
(3) 質疑
(4) 市民評価委員会の評価の決定
(5) その他
(6) 閉会

6 議事録

事務局	<p>本日は、お忙しい中ご出席いただきまして、ありがとうございます。それでは、ただ今から第2回市民評価委員会を開会いたします。</p> <p>なお、新居浜商工会議所の佐々木委員、新居浜機械産業協同組合の萩尾委員、新居浜地区労働者福祉協議会の伊藤委員、新居浜市老人クラブ連合会の沖委員、新居浜市民生児童委員協議会の石山委員、新居浜市医師会の井石委員、新居浜市女性連合協議会の工藤委員、新居浜市PTA連合会の野間委員からは欠席と伺っております。まだ見えていない委員さんもいらっしゃいますが定刻がまいりましたので始めさせていただきます。</p> <p>市民評価委員会は、委員長が議事進行することとなっておりますので、眞鍋委員長にお願いしたいと思います。</p> <p>眞鍋委員長よろしくお願いたします。</p>
眞鍋委員長	8月12日に第1回の市民評価委員会を開催し、その後各専門部会に分かれ

	<p>ていただいて、これまでご審議していただいたわけですが、各専門部会とも、積極的なご意見がでて、大変有意義な会であったと事務局から伺っております。ご協力ありがとうございました。</p> <p>本日は、評価結果の報告をいただき、その内容について審議し、最終的に市民評価として決定いたしまして、経営戦略会議に報告いたしたいと思っております。</p> <p>まず経営戦略会議について事務局から説明をしていただき、それぞれの部会の評価結果について説明をお願いいたします。</p> <p>経営戦略会議につきましては、市長を議長として、副市長、教育長、各部長からなる会で、新居浜市での最終かつ最高の意思決定機関となります。今年11月25日を予定しております、今回決定いただいた意見を報告して、最終決定を行う流れとなっております。</p> <p>まず、全体の結果を簡単に説明させていただきます。</p> <p>自己評価と皆さんからの評価が異なった事業が2事業ございました。まず環境保全課のバイオマス利活用構想策定事業につきましては、自己評価が手段を改善するとしておりましたが、市民評価においては重点化するとされました。学校教育課の小学校ハートなんでも相談員設置事業につきましては、自己評価を現状のまま継続するとしておりましたが、市民評価において重点化するとされました。</p> <p>それでは、「快適交流・経済活力部会」16事業の評価結果について、「市民評価委員会評価結果一覧表」に沿って、ご説明させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">〈快適交流・経済活力部会評価結果の説明〉</p>
<p>事務局</p>	<p>経営戦略会議につきましては、市長を議長として、副市長、教育長、各部長からなる会で、新居浜市での最終かつ最高の意思決定機関となります。今年11月25日を予定しております、今回決定いただいた意見を報告して、最終決定を行う流れとなっております。</p> <p>まず、全体の結果を簡単に説明させていただきます。</p> <p>自己評価と皆さんからの評価が異なった事業が2事業ございました。まず環境保全課のバイオマス利活用構想策定事業につきましては、自己評価が手段を改善するとしておりましたが、市民評価においては重点化するとされました。学校教育課の小学校ハートなんでも相談員設置事業につきましては、自己評価を現状のまま継続するとしておりましたが、市民評価において重点化するとされました。</p> <p>それでは、「快適交流・経済活力部会」16事業の評価結果について、「市民評価委員会評価結果一覧表」に沿って、ご説明させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">〈快適交流・経済活力部会評価結果の説明〉</p>
	<p>真鍋委員</p> <p>ただいま事務局から説明がありましたが、何かご質問、ご意見はございますか。</p> <p style="text-align: center;">〈質問・意見なし〉</p> <p>それでは、快適交流・経済活力部会の16事業につきましては、ただいまの評価結果を市民評価委員会の結果として、経営戦略会議に報告いたしたいと存じますが、よろしいでしょうか？</p> <p style="text-align: center;">〈異議なし〉</p>

事務局	<p>ありがとうございます。それでは、この内容で、経営戦略会議に報告していただきます。</p> <p>次に、環境調和・健康福祉部会の評価結果について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>それでは、「環境調和・健康福祉部会」15事業の評価結果について、ご説明させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">〈環境調和・健康福祉部会評価結果の説明〉</p>
眞鍋委員長	<p>ただいま事務局から説明がありましたが、何かご質問、ご意見はございますか。</p> <p style="text-align: center;">〈質問・意見なし〉</p> <p>ないようでしたら、環境調和・健康福祉部会の15事業につきましては、ただいまの評価結果を市民評価委員会の結果として、経営戦略会議に報告いたしたいと存じますが、よろしいでしょうか？</p> <p style="text-align: center;">〈異議なし〉</p> <p>ありがとうございます。それでは、この内容で、経営戦略会議に報告していただきます。</p> <p>次に、教育文化・自立協働・計画の推進部会の評価結果について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、「教育文化・自立協働・計画の推進部会」13事業の評価結果について、ご説明させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">〈教育文化・自立協働・計画の推進部会評価結果の説明〉</p>
眞鍋委員長	<p>ただいま事務局から説明がありましたが、何かご質問、ご意見はございますか。</p> <p style="text-align: center;">〈質問・意見なし〉</p>

	<p>ないようでしたら、教育文化・自立協働・計画の推進部会の13事業につきましては、ただいまの評価結果を市民評価委員会の結果として、経営戦略会議に報告いたしたいと存じますが、よろしいでしょうか？</p> <p>〈異議なし〉</p> <p>ありがとうございます。それでは、この内容で、経営戦略会議に報告していただきます。</p> <p>それでは、せっかくの機会ですので、委員の皆様から一言ずつ感想をお願いいたします。</p>
加藤委員	<p>今回で3度目の評価委員会となりますが、事務局においては、自分の部会以外の質疑応答についてもまとめてくれているなど、非常に理解しやすいように努力してくれていることに感謝したいと思います。</p>
石井委員	<p>今回いただいている一覧表につきましては非常に分かりやすくまとめていただいております。我々は快適交流・経済活力部会を担当したのですが、急きょ途中提案した事業もありましたが、事務局には積極的に対応していただき、委員さんからも活発な意見をいただくなどスムーズに評価できたと思っています。</p>
桑原委員	<p>この会の趣旨とは逸脱するかもしれませんが、高校生の新卒を採用しようと高校を回っている中で、先生からは女子生徒を採用してほしいという要望をよく言われます。こちらはこの辺りを行政の方で何とかならないのかと思っております。企業側も行政の方で採用していただき人材育成をしてもらえたらありがたいのですが。</p>
眞鍋委員長	<p>事務局から何かコメントはありますか。</p>
事務局	<p>採用につきましては、定員管理計画の中で動いており、定数不拡大の流れの中で、10年間で100名近く減員している状況です。このような状況の中で正規職員の採用につきましては、なかなか難しいとは思いますが、臨時職員につきましては、応募いただけたら対応できると思います。全体的に高卒女子の就職先が少ないということは問題と思っておりますが、経済部で雇用対策協議会を商工会議所と立ち上げておりますので、そちらの方にお伝えしておきます。</p>
山崎委員	<p>初めて参加して、事業の進め方や、また事業担当課も精いっぱいやってい</p>

	<p>ることがよく分かりました。今の新居浜市であれば、地域と連携していく構想があれば、そういう団体とはお付き合いしていただけるのではないかと、すごく前向きな気持ちを抱きました。このような評価は出席しなければ分かりませんので、なかなか外には出せない情報もあるかとは思いますが、もっと地域に発信していけば、地域が変わると思います。また、我々市民としては市がやったことは市が何とかしろという意見が出がちですが、それを変えていくには、行政と地域がやり取りできる場や媒体が必要だと思えます。それができればもっと市を活性化できると思います。</p>
眞鍋委員長	<p>事務局から何かコメントはありますか。</p>
事務局	<p>市民と行政が相互理解の基に、官民一体となったまちづくりを目指していますが、そのようなことで経費の削減にもつながりますし、例えば道路に関して言いますと自分の家の前は面倒みてもらったら道路全体がきれいになっていくということもありますので、またご協力願えたらと思っております。</p>
眞鍋委員長	<p>この会の記録は公開しますよね。</p>
事務局	<p>公開します。</p>
山崎委員	<p>一番伝わりやすいのは自治会と思っています。地域にあるのは自治会なので、そこから何か発言できるものがあると広がりやすいのではないかと思います。</p>
越智委員	<p>今回初めて参加させていただきまして、自分が仕事で関わっている分野については分かっていたつもりではいましたが、それでもまだ理解しきれなかったこともありました。最初に事務事業一覧表を見た時に、こんなにも事業があることに驚きました。事業について全く知らなかったことが多かったので、まずここに参加させていただき、一端でもみせていただけたことに感謝したい気持ちです。</p> <p>大部分の市民が事業の内容を知らないと思いますので、それを分かっていたら、団体や市民と行政とがうまく協働していけるような情報の発信の仕方や関わり方などをここから発展していけばいいと思います。その中で部分的に意見を言わせていただいたところで、市の中でも何を重点化して効率化していくというものを、縦割りではなく横の連携をうまくとっていただい</p>

	<p>て、少しでも事業の効率化を図っていただくことが限られた予算の中で、最大の効率を見出すものだと考えています。</p>
眞鍋委員長	<p>事務局から何かコメントはありますか。</p>
事務局	<p>眞鍋委員長さんもこの会については、行政縦割りではなく横のつながりで評価していくということを言われておりましたけれども、このような視点でご意見をいただき感謝しております。この会自体がPDCAサイクルで次年度に生かしていくものでございますので、いただいた意見につきましては次年度の予算、執行につきまして取り入れていきたいと考えております。</p>
志賀委員	<p>私も今回初めて参加させていただきました。これだけの事業数をこなしていることにまず驚きました。それぞれの事業担当者につきましては、ヒアリングを通じて真摯に取り組んでいるということが伝わってきました。このような状況であれば、新居浜市民の一人として、市から協力の要請があれば、これまで以上に積極的に協力しなければならないなと強く感じました。</p> <p>私も今回この会に出てこのような気持ちになりましたので、このような情報を市民にもっと知ってもらえたら、私と同じように市からの協力要請についてももっと協力しなければという気持ちになる人が増えると思います。</p>
小野委員	<p>私も今回初めて参加させていただきまして、行政に対して硬いイメージをもっており、どんな仕事をしているんだろうという気持ちがあったのですが、非常にきめ細かい事業をされており、市民一人一人の意見を聞いて改善して、住みよい環境づくりをしていることについて感心しました。私自身今まで以上に市の環境づくりに対して積極的に応援もしたいし、意見も述べさせていただけたらと思っています。</p> <p>ひとつ意見を言わせていただきますと、予算の関係で削減されていることかと思いますが、道路の草のことにはなるのですが、国道や市道も含めて年から年中、草が非常に多い状況です。そのようなことも予算の削減でできないのであれば、市の方から自治会などの地域にお願いをして、お互いに市と地域が一体となったキレイなまちづくりをお願いすることできたら、全体としてクリーンな新居浜市ができるのではないかと思います。</p>
眞鍋委員長	<p>最後は協働ということになると思いますが、協働というシステムに対して行政も市民も慣れていないと思います。今はどちらかというと市民から市に対してあれもこれもしてほしいという一方通行のものが多くありますが、これが</p>

	<p>らは、市民もここまでしますので市もこれだけをお願いしますというような痛み分けができるシステムができるためには慣れの期間が必要と思います。まだ協働については始まったばかりですので、団体や自治会も含めて試行錯誤しながらシステムを作り上げていかなければならないと思っています。</p>
小野委員	<p>観光に力を入れているかと思いますが、太鼓祭りを例にとっても道路の端々に草がいっぱいという状況はまずいと思います。行政も遠慮せずに自治会など地域に積極的に働きかけていただきたいと思います。そうすることでより一層市民と行政の距離が縮まるものと考えています。</p>
眞鍋委員長	<p>アダプトプログラムについて事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>アダプトプログラムにつきましては、10年くらいになると思いますが、例えば道路や河川とか里親制度というものを設けております。企業や団体にこの部分の面倒をお願いしますということで、それに係る消耗品等は市で支給しますという制度もございますので、その辺りを広げていければと考えています。言われましたように最後は協働のまちづくりということになるかと思しますので、市長公約の中で政策懇談会を立ち上げ、現在地域コミュニティ再生のワーキンググループの中で具体的施策について検討していただき、今月末には提言を受けますので、そこでの意見も取り入れながら協働のまちづくりに活かしていきたいと考えています。</p>
眞鍋委員長	<p>この会で行政というものがよく分かったと思います。このような機会とにかく参加しなければ分からない。市政だよりを見ると審議会や委員会の公募をしています。ところが応募による充足率については半数ほどです。せっかく行政を知るチャンスですので、みなさんも関心があるものがありましたら積極的に参加してください。</p> <p>各委員さんから賜りましたご意見等につきましては、経営戦略会議に報告していただくとともに、主管課及び事務局において十分に検討していただき、改善が図られるよう次年度以降の取り組みに生かしていただきたいと思えます。</p> <p>また、経営戦略会議での決定を受けた後、事務局より経営戦略会議の結果を郵送して頂きます。</p> <p>私たちが行った評価結果がどのように予算に反映されたのかについては、予算案が策定されました後、事務局からご説明いただく予定といたしておりますので、お知らせいたしておきます。</p>

	<p>それでは、他に無いようでしたら、これで本日の市民評価委員会を終了いたします。ありがとうございました。</p>
--	---